

新型コロナウイルスの感染



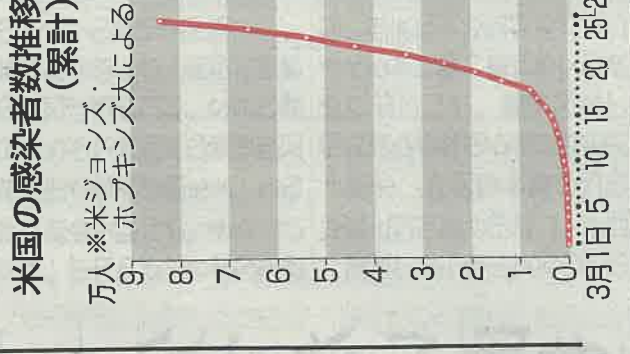
米ニューヨークに設置された仮設の遗体安置所＝25日(A.P.=共同)

患者殺到 拡大防 トランプ氏、経済再

24時間以内に13人が死亡したと発表し、死者数は倍増。林博士らが着けるマスクも不足し一日中、同じものを使い続けた上で再利用しており「基本的な物資も足りない。米国は第一級の先進国はず

これ以上の感染拡大を封じようとして、林博士らに呼びかけ、好調な経済実績を再選に向けてアピールしてきたトランプ氏にとっては危機的状況だ。

米国の感染者数推移(累計)



英首相が感染

軽症 自主隔離し公務継続



ジョンソン(A.P.=共同) 英首相

【ロンドン共同＝砂田淳】ジョンソン英首相(56)は21日、新型コロナウイルスに感染したと公表した。症状は軽く自主隔離に入っていると

、21日国会議事録を執り続ける姿勢を強調。対策を担当大臣であるハコック保健・社会福祉相の感染も判明、政権中枢で感染が広がっている可能性が出てきた。先進7カ国(G7)の首脳で感染が判明したのはジョンソン氏が初めて。

英保健当局は21日、国内の感染者が1万4579人になったと明らかにした。うち死者は49人。チャールズ英皇太子(71)も感染しており、首脳で感染が確認されたこと英国国内で感染拡大が深刻な状況であることが改めて示された。欧州連合(EU)離脱に伴うEUとの貿易交渉にも影響が出そうだ。

ジョンソン氏は26日から発熱やせきの症状が出たため、首相官邸で検査を受けた。女王(93)がジョンソン氏と後に面会したのは11日とした上で、女王が現在も良好な健康状態だと説明。女王はロンドン郊外のウインザー城で自主隔離に入っている。

世界の感染者55万人

【シネゴブ共同】米ジョンズ・ホプキンス大の集計によると、新型コロナウイルスの感染者が21日、世界全体で55万人を超えた。

新型コロナウイルス感染者が多い国・地域

米国の集計	累計
米国	8万6012人(1301人)
中国本土	8万1340人(3292)
イタリア	8万0539人(8166)
スペイン	6万4059人(4858)
ドイツ	4万3165人(264)
イラン	3万2332人(2378)
フランス	2万9155人(1696)
英国	1万4579人(759)
スイス	1万2161人(197)
韓国	9332人(144)
日本	2235人(62)

※27日現在、()内は死者数(57日現在)

地下鉄で火災 運転士が死亡

【ニューヨーク共同】米ニューヨークの地下鉄で21日未明、火災があり、米メテアによると運転士が死亡し、少なくとも数人が負傷した。警察当局は、事件の可能性を視野に捜査していると明らかにした。他にも3カ所の駅で近い時間帯に出火したとの情報がある。現場はニューヨーク市・ハートルム地区で、米メテアは強烈な黒煙が地中から噴き上がる映像を伝えた。

噴火の記録・伝承

県御嶽山ビジターセンター

県は21日、2014年9月の御嶽山噴火災害を受けて木曽郡上菅村の原の御嶽山登山口に建てるビジターセンターの基本計画を決定した。建物の延べ床面積(500平方メートル)や展示スペース(200平方メートル)は21日に公表した計画案と同じ。意見公募で寄せられた指摘を踏まえ、「施設の役割」として記載する項目の順番を入れ替えた。計画案は役割を、火山のリアルタイム情報などの発信、御嶽山が育む文化などの発

抜け落ちた世界の「根底」

新型コロナウイルスの感染が地球上に広がっている。この災害は人類にとって何を意味するのか。作家兼詩人の辺見庸さんに寄稿してもらった。

迎見庸

④ 新型コロナと人類

マスクとミサイルは論なく別物である。一方はぶつろ平たくて柔らかく、毫も悪意を感じさせない。こそさらに造形と言っても疎かな消費財。他方は宙にむかい尖形に屹立する。底意の計り知れない、複雑にして精密な破壊兵器である。両者を並べて論ずることはできないかもしれない。たしかに前者で戦争は戦えず、後者でウイルス感染を防ぐことはできない。

一基のミサイルは一枚のマスクに比べ気が遠くなるほど高価

であり、少なからぬ人びとを恐怖させ、怯ませるほどの神秘的な存在を築きあげてきた。その残虐な破壊性にもかかわらず、いや、だからこそであろう、ミサイルは強力であればあるほど「グアルス」のこのまじり度の対撃でありえたのである。マスクは防衛的で脆弱な攻撃として、いとも気楽に使い捨てられてきたのだ。



くさか・ちか 1944年宮城県生まれ。共同通信社北京特派員。ハノイ最長などを歴任し、日本新聞協会賞を受賞。「自動起床装置」で芥川賞、「もの喰う人びと」で講談社ノンフィクション賞、「眼(め)の海で高鳥鷹賞」「増補版1★3★7」で城山三郎賞。他に「赤い橋の下のぬるい水」「言い花」「純粋な幸福」など著書多数。

「世界は、ミサイルを圧倒的な力に、マスク卒位のものとみなす価値の順位を、わたしたちが無意識に受け入れてきたのである。言いかえれば、人類は兵器開発には血道を上げてきたが、マスクなど歯牙にもかけることなかった。果たしてそれによってよかったのか。」

新型コロナウィルスによる予期せざる災禍は、これまでまったく疑いもなかった概念の一切を土台から揺さぶっている。「土台から」と書いたが、しかし、自問を禁じることができない。世界にそもそも「土台」なものとしての根底が見出されな

っていくものがあったらどうか。おそろこの世界はいま、空前絶後の、歴史を画する変容のさなかにある。世界像を世界自身があるものすごい力で変えつつあるとも言える。そのナイフとハンマーの歴史は、ごくごく短期的になにも、第二次世界大戦の勃発と原爆投下、戦争の終結まで遡らなくてはならないのかもしれない。そのときも、王冠が問題にされた。マルティン・ハイデガー(1889〜1976)の言葉で表せば「根底」である。「世界にとってこそ基礎づけるものとしての根底が見出されな

くさか・ちか 1944年宮城県生まれ。共同通信社北京特派員。ハノイ最長などを歴任し、日本新聞協会賞を受賞。「自動起床装置」で芥川賞、「もの喰う人びと」で講談社ノンフィクション賞、「眼(め)の海で高鳥鷹賞」「増補版1★3★7」で城山三郎賞。他に「赤い橋の下のぬるい水」「言い花」「純粋な幸福」など著書多数。

くなっている」「(乏しき時代ではないか、世界の「底」が抜ける。ハイデガーがいささかならぬ嘆息とともに述べたのは、大戦後間もない1945年12月であった。ナチスに加担したハイデガーにとって、ドイツの惨敗たる敗北は自らの哲學の挫折でもあり、「神性の輝き」が世界史から消えてしまったのである」とまじり述べたのも故に、ハイデガーの論述と言葉の教々は、ナチス・ドイツの盛衰とまじりなにしても、遠い残響として歴史の暗がりをつねに照らしながら、今日まで這いわたってきた。だが、疑問が雲霧のように湧いては消える。世界を「基礎づけるものとしての根底」は、ひょっとしたら大戦終結時より、新型コロナウイルス禍のいまのほうがいいとはなっていない。

くさか・ちか 1944年宮城県生まれ。共同通信社北京特派員。ハノイ最長などを歴任し、日本新聞協会賞を受賞。「自動起床装置」で芥川賞、「もの喰う人びと」で講談社ノンフィクション賞、「眼(め)の海で高鳥鷹賞」「増補版1★3★7」で城山三郎賞。他に「赤い橋の下のぬるい水」「言い花」「純粋な幸福」など著書多数。

ではないか。世界の「底」が抜ける。ハイデガーがいささかならぬ嘆息とともに述べたのは、大戦後間もない1945年12月であった。ナチスに加担したハイデガーにとって、ドイツの惨敗たる敗北は自らの哲學の挫折でもあり、「神性の輝き」が世界史から消えてしまったのである」とまじり述べたのも故に、ハイデガーの論述と言葉の教々は、ナチス・ドイツの盛衰とまじりなにしても、遠い残響として歴史の暗がりをつねに照らしながら、今日まで這いわたってきた。だが、疑問が雲霧のように湧いては消える。世界を「基礎づけるものとしての根底」は、ひょっとしたら大戦終結時より、新型コロナウイルス禍のいまのほうがいいとはなっていない。マスク不足は悩

くさか・ちか 1944年宮城県生まれ。共同通信社北京特派員。ハノイ最長などを歴任し、日本新聞協会賞を受賞。「自動起床装置」で芥川賞、「もの喰う人びと」で講談社ノンフィクション賞、「眼(め)の海で高鳥鷹賞」「増補版1★3★7」で城山三郎賞。他に「赤い橋の下のぬるい水」「言い花」「純粋な幸福」など著書多数。

み、各州の市民に感染拡大防止のための外出規制を課し、国家非常事態まで宣言している米国は、突如、極超高速遊泳体(Missile)とHUBの飛行実験を敢行、マスクよりミサイル重視の姿勢にまったく変わりがないうことを鮮明にしているのだから、にしても、かつていったい誰が予感し反響させたのだろうか。核爆弾の過剰とマスクの過剰、それらが絶望的に併存する風景を、

くさか・ちか 1944年宮城県生まれ。共同通信社北京特派員。ハノイ最長などを歴任し、日本新聞協会賞を受賞。「自動起床装置」で芥川賞、「もの喰う人びと」で講談社ノンフィクション賞、「眼(め)の海で高鳥鷹賞」「増補版1★3★7」で城山三郎賞。他に「赤い橋の下のぬるい水」「言い花」「純粋な幸福」など著書多数。

特別交付税配分 長野県分は2.8倍

総務省は21日、地方交付税のうち災害復旧などに充てる特別交付税の3月分配分額を決めた。長野県分は約3億9000万円。昨年12月の交付金と合わせて2019年度総額は前年度比2.8倍の約8億9000万円。県によると、昨年10月の台風19号豪雨災害の被害により増額となった。県の市町村分は239億

論をつなぐ

論

相反する二つの「顔」混在

新型コロナと人類 ① 辺見庸

進む技術 退行する政治

カフェの窓しに長い人の列が見える。隣のスーパーでマスクとトレットペーパーを買い求める客たちが店の外までみだしている。殺意はこぼれない。けれども、マスクをした表情がみななじみこぼれている。わたしは急に無花果が食べたくなった。実を枝からもぐりと切り口から乳色の液が滴る。洗わずに食った実の、昔の書真さを懐かしむ。すっかり変わったなと思う。なにが変わったのだろうか。

「戒厳令だまな。ひどい状況だまな..」。カフェの客の音が聞こえる。白マスクの音がくぐもる。友人であろう。黒マスク

の老人が応じる。「ああ、世界中、まるで戒厳令だまな。戦争だまな..」。トランプ大統領が「戦時大統領を名のりはじめ、フランスのマクロン大統領は「これは戦争である」と演説で6回もくり返し、ドイツのメルケル首相も「第二次世界大戦以来の挑戦」として、新型コロナウイルスとの徹底交戦を宣した。たしかに、さながら第三次大戦の構相ではある。

だが、現在のコロナ禍の時代背景には相反する二つの「顔」がありそうだ。ブリーゲルの「死の勝利」と中世の繪画を彷彿とさせる古典的災厄の側面と、それらとまったく異なる豪華クルーズ船や最先端軍事シス

テムの、じつに驚嘆すべき混在である。スペインはマドリードのプラド美術館にあるゴッゲルの作品には、感染症にうち倒れるおびただしい死者たちや残忍な死刑の光景、遺棄には火山の噴火、荒み果てる都市の姿が叙事詩のまじりに、しかし万人にとつてのデジヤビエのようにも描かれている。

それらは中世キリスト教に根ざす「教訓画」とも呼ばれたのだが、残酷にもスペインの新型コロナウイルスによる死者は現実ですでに千人を超えた。もはや詩でも繪画でも映画でもない。マドリードの展覧場はいまもコロナ患者用の病院と化している。ペ



スペイン北部ビルバオで新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため消毒作業を行う緊急部隊の隊員ら＝3月23日（AP＝共同）

いならわされた響句「メント超えて全世界にどこまでわたっているよな。」「(「死を想え」)の声は、いま遅ればせながら、時空を長く認しく思ってきたこと

がある。歴史の「前進」についてである。歴史はただ進むだけでなく、後戻りしたり反復したりしないものなのだろうか。

かつてミツエラン政権の外交顧問をつとめたことがあるフランスの作家で思想家のシス・ドゥアノは、歴史には「逆行、ないし退行、もあり」と考へてきた。1990年代半ばにスイスの社会学者ジャン・シグラーと対談したドゥアノは、友人同士の間にもあつてか、めまいがするほど大胆な発言を連発している。

「技術の進歩は不可逆だが、政治は可逆的なものだ。つまり、政治には進歩はないということだ」「人間の作る共同体の奥底には、まったく意識されない、のらない反復的な構造が潜んでいる」「(「屈辱しないこと」原書一話)。これに対しシグラー

は、「目に見える歴史の底に横たわっているあの不可逆の歴史こそ、ぼくには決定的に重要なものに思われる」と述べる。抽象的だけれど、対話だが、ここには現在のパンデミックともからむ戦慄の終局的メッセージがあるように思われてならない。

政治と医療をふくむテクノロジーの分野は、未来にむかつて同時に併走しているものにみえ、そでではない。ドゥアノによれば、政治の世界には「専制主義予防のワクチン」も「人種差別に対するワクチン」も「排外主義に対するワクチン」もないのだという。半世紀以上前に呂面着陸をなすじ、火星をもつかかおつという人類が、アシステムや人種差別を駆逐する「ワクチン」さえいまだに

あわせていないというのである。新型コロナウイルスの災厄はそのことを痛感する現象として晒してみせている。

「あらゆる事象はすべて『にも抑えられ』起る」といった誰かの言葉を思い出した。ものがしびる時は、こんなものなのかと思つた(寂しい島)。こう記したのは中島敦である。〈ままか〉はない。「累積してゆく不可逆な技術的進歩が、政治における古く変わるこのないものと結びつく。そこにはとんだものない暴発の危険が生じる..」とドゥアノは核戦争の可能性までもおたしたものだ。

鳥のつまる不安と不信がつづく。わたしはまだマスクを買っていない。無花果を食いたい..それだけが揺るぎない事実である。(作家、詩人)

国家台頭は民主主義の試練

中北 浩爾

一橋大大学院教授



所副所長 窪光

る。そうした国家像を示したのは、ナチス・ドイツのイデオログ(理論家)として知られる政治学者カール・シュミットであった。その思想がまがえり、あたかも新型コロナウイルスとともに世界を彷彿とさせているかのようだ。

なかきた・こうじ 1968年三重県生まれ。東大大学院中退。大阪市立大助教授、立教大教授などを経て2011年から一橋大大学院教授。著書に「自民党政治の変容」「自民党一強の実像」など。「連立」にみる強さの正体」。

いま国家の役割が高まっている状況は、三つの点でみられる。一つ目は、市民活動の制限である。武漢を封鎖した中国ほどではないにせよ、少なからぬ国々で非常事態や緊急事態が宣言され、特別法などに基づき人権への制約が課されている。日本でも、政府が大規模なイベントの中止や延期を求めたり、小・中・高校の休校を要請したり、マスクの着用を禁止したりといった措置を講じてきた。

二つ目は、国家権力を行使する政府の、それを制約する議会に対する態度である。先に日本で成立した新型コロナウイルス等対策特別措置法の改正に、緊急事態宣言の国会の事前承認が盛り込まれていないことは、その表れといえる。

三つ目は、対外的な側面であり、環境管理の強化だ。日本をはじめ多くの国々が新型コロナウイルスの侵入を防ぐため入国に制約を課し、検疫の強化のみならず、ビザの発

給などを制限している。このような状況を指して「事実上の鎖国」という見方も出ている。

自由民主主義を脅かしかねない国家権力の強化は、ポピュリズムの台頭にもみられるように、近年の顕著な傾向だ。主権の回復を求める英国の欧州連合(EU)離脱は、その代表例であるが、EU域内にとどまる国々の間でも、新型コロナウイルス阻止を目的に環境管理が復活してきている。

現在、ポピュリズムが勢いを増すと並んで自由民主主義の脅威になっているのが、共産党の独裁体制が続く中国の台頭だ。中国は発生源でありながら、国家権力をもつて新型コロナウイルスを抑え込んだことを国際的にアピールし、イタリヤなど感染が深刻な他国への援助を申し出てきている。

国際協調主義

新型コロナウイルスは多くの人々に死に追いやるだけでなく、自由民主主義やそれに基づく国際協調主義をも葬ってしまうのか。答えは否であろう。少なくとも、それは必然ではない。

たとえ新型コロナウイルスを一国内で抑え込んだとしても、国境を完全に閉ざすことができない以上、他国で広がれば、その影響を受けざるを得ない。欧州から中国への逆流現象も起きている。感染症と闘う上では、国際協調が不可欠なのだ。

また、それほど強い国家権力であっても、全ての国民の行動を統御することは不可能である。新型コロナウイルスの感染を拡大させないために重要なのは、人々が自由

に付随する責任を引き受け、公共を持って振る舞うことである。もちろん、適切な国家権力の行使は必要だが、市民社会と連携することで大きな効果を発揮できる。

マスクをつけることは自らの感染予防には効果がないといわれる。しかし、感染を拡大させないという面での効果は高い。袖を口を押さえる咳エチケットや、微熱の際の自覚検温など、多くの人々が心掛ければ、新型コロナウイルスの蔓延は抑えられる。

諸外国に比べると、日本感染者数は低位で推移しているが、この状態を続けられるか。これに成功したならば、多くの命が救われるだけでなく、自由民主主義の存続にも寄与する。新型コロナウイルスとの闘いは、政治的試練でもある。

再生可能エネルギーの復権

所副所長 窪光

油価格は1リットル27.3円。安価で扱いやすい液体燃料の石油火力発電

第1原発事故後、一時的にせよ全ての原発が止まった。電力供給

脱炭素の世界的潮流は、火力発電への依存度を可能な限り引き下げ

35%、イギリス33%、中国26%、フランス19%、日本18%、アメリカ17%。日本は水力発電所9%を含んだの数字だから、狭義の再生エネルギーは9%となる。

10年間で太陽光発電の設置費用は半減した。今後、蓄電池の価格が下がれば、余剰電力を蓄電池にため込むことにより、太陽光発電の供給不安定を補完することができ

18世紀後半から19世紀前半にかけての第一次産業革命を支えたエネルギーは石炭だった。19世紀末から20世紀初頭にかけての第二次産業革命を支えたエネルギーは

1963年頃まで、わが国の電源構成は「水主火従」だった。55年度の業績を見ると、水力が7.7%、石炭火力が20.1%だった。当時の家庭電化製品はといえば、